

母子生活支援施設 ちぐさ

昭和22年、戦後の混乱期に恩賜財団同胞援護会高知支部の経営により高知県最初の母子寮として、相生町に「千草母子寮」（定員5世帯）を開設しました。

その後、経営組織を改組し、社会福祉法人高知県福祉事業財団を設立し今日に至り、平成9年児童福祉法の改正により「母子生活支援施設ちぐさ」と名称も変更となりました。

平成10年には現在地に移転新築（定員30世帯）し、母と子が一緒に生活できる唯一の児童福祉施設として、広く県内外から母子を受け入れてまいりました。

百石町に移転以来令和3年3月末までに192世帯が入所し、170世帯が自立していきました。

これからも母子の権利擁護に努め、自立に向けた支援に努めてまいります。

◎令和2年度事業計画に掲げた重点目標に対する主な取り組み

(1) 母と子の権利と尊厳の擁護

母と子が一緒に生活できるという特徴を持った唯一の施設として「ちぐさ理念」に掲げ、それぞれの生活課題に向き合い、安全な居場所の提供と自立に向けた考えを尊重しその歩みをともにした。

(2) 利用者の意向を意識しつつ目標設定を行い、切れ目のない支援の展開

年度当初に22世帯の支援計画書を作成し、毎月2回の職員会でその課題を共有し、随時見直しながら対応に努めた。

(3) ハローワーク等就労支援機関と連携し、経済的自立への道筋をつける。

延べ求職者8名。そのうち同行支援はハローワーク（はりまやジョブセンター）5名。3名が就職した。

(4) 子供の育ちを保障するために、養育・保育に関する支援を行う。

延べ75名の幼児の預かり保育を実施した。（コロナ禍の中、保育育児は極力母親で完結するよう指導そのため預かり保育が激減した）

(5) 母親に対して基本的な生活習慣の支援

育児はもとより掃除、食事、入浴に関して未熟な母親が多くその都度職員が部屋に入り、手伝い助言した。とりわけ若年の特定妊婦については、時間を決め集中的に支援を行い母親としてのスキルが上がった。

(6) DV被害からの回避・回復のため、広域利用や一時保護委託の受入を行う。

令和2年度は4世帯の広域利用（市外）があった。

また平成19年度から高知県女性相談支援センターと一時保護委託契約を結んでおり、1世帯を11日間受け入れした。

(7) 地域ニーズに対応するため、ショートステイ・トワイライトステイを実施する。

令和2年度は香南市より1世帯を7日間受け入れた。

(8) 防災・減災対策の実施

毎月1回避難訓練を実施。コロナウィルス感染予防のため毎年実施している消防署員による消火訓練、地震の講話、非常食の試食会は中止としたが、高知県防災対策課の起震車体験や施設の防火管理者を中心に自主的な消火訓練や学習を実施した。

(9) 職員の資質と施設運営の向上

本年度は新型コロナ感染対策のため集合研修はほとんど中止となり、オンラインによるリモート研修となった。母子生活支援施設協議会や社会福祉協議会の各種研修、関係機関等の主催する事例検討会等に参加し、それぞれのスキルアップに努めた。(21回のべ36名)

◆年度別入所者数・職員数

各年度3月31日現在

年 度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
定数(暫定)	27世帯	27世帯	27世帯 (26)	27世帯 (22)	27世帯 (22)
入所世帯数	24世帯	15世帯	17世帯	22世帯	22世帯
入所人数	54名	38名	43名	55名	53名
職員数	9名	10名	10名	10名	11名

※職員数：契約職員を含む

◆令和2年度 月別世帯数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数	22	21	22	22	22	23	22	21	21	21	21	21
入所	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
退所	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0

◆令和3年3月31日現在の入所世帯状況 (定員27世帯 暫定22世帯)

入 所 世 帯 の 状 況	入所者数	22世帯53名(内児童数31名)					
	市内・県内外別世帯数	高知市内 ⇒6		県内市町村 ⇒15		県外 ⇒1	
	主たる入所理由	DV ⇒7		住居の確保 ⇒4		養育支援 ⇒11	
	在所年数	5年以上/8		3~5年/1	1~3年/11		1年未満/2
	就労者の状況	常雇 5名		パート 5名		無職 12名	
	母親の年齢構成	10代/1名	20代/5名	30代/9名	40代/7名	50代/0名	
	子どもの年齢構成	乳幼児9名	小学10名	中学10名	高校2名	大学0名	

◆令和2年度の入所者の状況

世帯	職業	入所理由	措置元	世帯構成
1	無職	夫のDVにより 市外より転入	市外	2名
2	無職	離婚により住居なし 市外より転入	市外	2名
3	無職	夫の死亡により 市外より転入	市外	4名
4	介護職	同居男性とその母によるモラハラ市外より転入	市外	2名

◆令和2年度退所者の状況

世帯	職業	退所理由	在所年数	世帯構成
1	パート	入所者とのトラブルにより民間アパートへ	1年2か月	2名
2	無職	夫と復縁により市外へ	2か月	2名
3	無職	市営住宅に当選	12年5か月	4名
4	無職	県営住宅に当選	2か月	4名

◆各種研修会等への参加状況（21回／36名）

- 職員研修「シングルマザーの心理特性」・・・・・・・・・・全職員
- 職員研修事例検討会 4回・・・・・・・・・・・・・・・・全職員
- 職員研修事例検討会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3名
- 会計セミナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1名
- 所内事例研修《子供の家》2回・・・・・・・・・・・・ 2名
- 事例研修《女性相談支援センター》・・・・・・・・・・ 1名
- こうち男女共同参画センター研修・・・・・・・・・・・・ 1名
- 3keys ミニ講演会リモート「学習支援」・・・・・・・・・・ 3名
- 甲種防火管理新規講習会・・・・・・・・・・・・・・・・ 1名
- 心理研修リモート「ストレスを軽くするからだづくり」・・ 1名
- 西日本こども研修センターあかし「こころのシリーズ」・・ 1名
- 高知市子育て支援研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1名
- ソーレ研修「性暴力被害者への初期対応」・・・・・・・・ 1名
- 母子生活支援施設職員指導者研修 リモート・・・・・・・・ 1名
- 会計セミナー予算・決算編・・・・・・・・・・・・・・・・ 1名
- ファミリーソーシャルワーカー研修会・・・・・・・・・・ 1名
- 退所児童等支援事業全国セミナー・・・・・・・・・・・・ 1名

◆主な年間行事

令和2年当初より新型コロナウイルスにより職員、入所者の行動が著しく制限され従来の行事が中止される中まずは感染防止のための新しい生活様式の徹底をした。そのような中職員が工夫をしながら下記の行事を実施した。

- 4月 母親健康診断(1回目)
- 7月 安芸川遠足
- 8月 お母さんと遊ぼう (乳児、幼児を分けて施設内で)
- 8月 むろと元気塾 (ドルフィンスイムなど)
- 9月 お母さんと遊ぼう 2回目
- 9月 ボルタリングにチャレンジしよう
- 9月 DVD鑑賞会
- 10月 母親健康診断 (2回目)
- 11月 ちぐさ秋まつり (入場者を3回に分け密にならないよう工夫した)
- 12月 クリスマス会
- 3月 お母さんと遊ぼう 3回目
- 3月 ベリーダンスエクササイズ